

Q. 京都の森にいる鳥はすべて保護された鳥ですか？保護センターにはどれくらいの鳥が運ばれてくるのがきになります

A. 京都の森には、現在20種58羽（2022年1月31日現在）を飼育しており、救護センター由来は14種21羽（アオバト3、イソヒヨドリ、オオコノハズク、カルガモ、キンクロハジロ、トラツグミ、ニホンキジ、ハヤブサ2、ヒドリガモ、ヒヨドリ、ホシハジロ2、ホンドフクロウ3、マガモ2、ユリカモメ）になります。

救護センターには、令和2年度には33種65羽が運び込まれ、うち33羽が自然復帰しています。この年に救護されたニホンキジ（メス）を園内に受け入れて展示しています。

